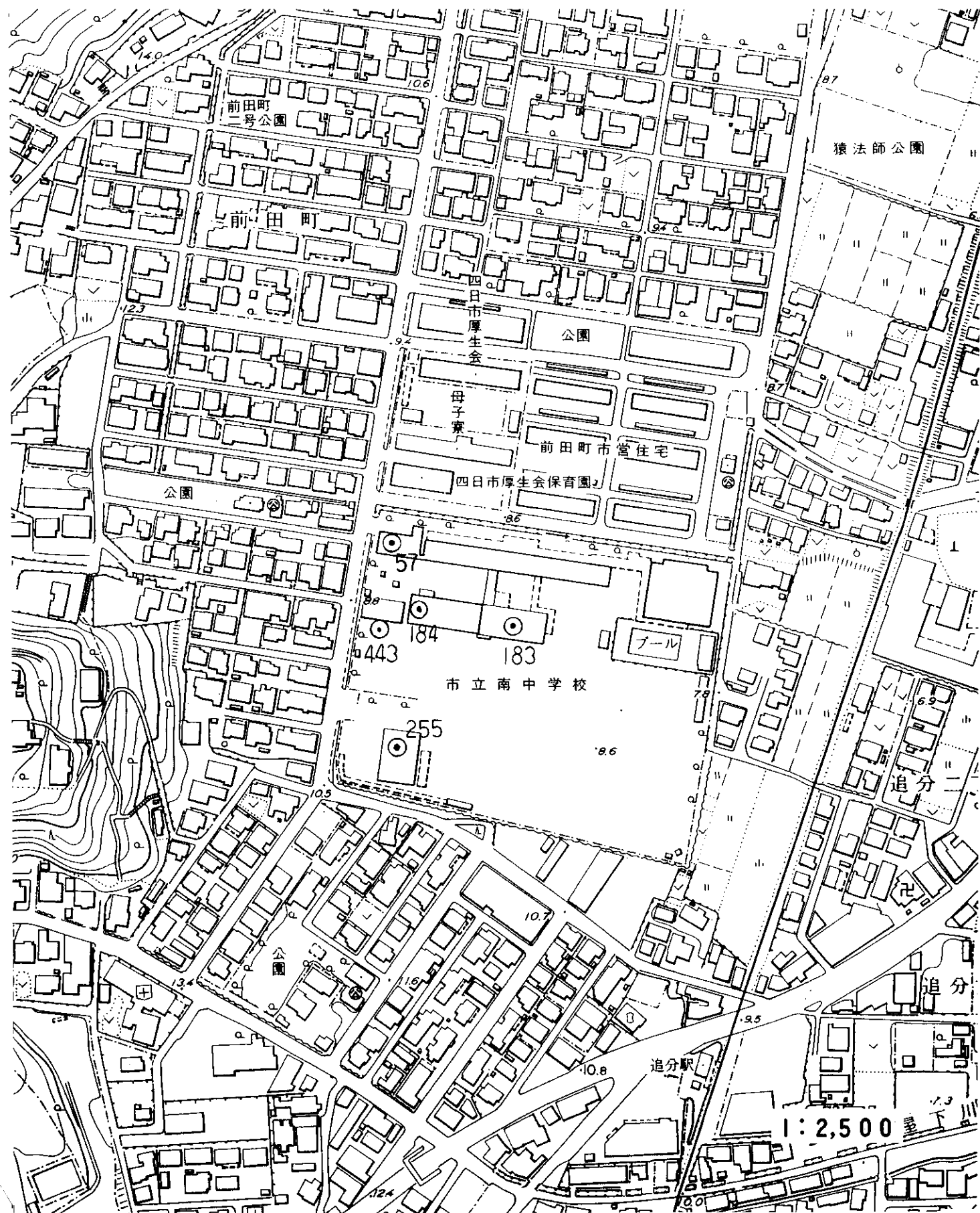


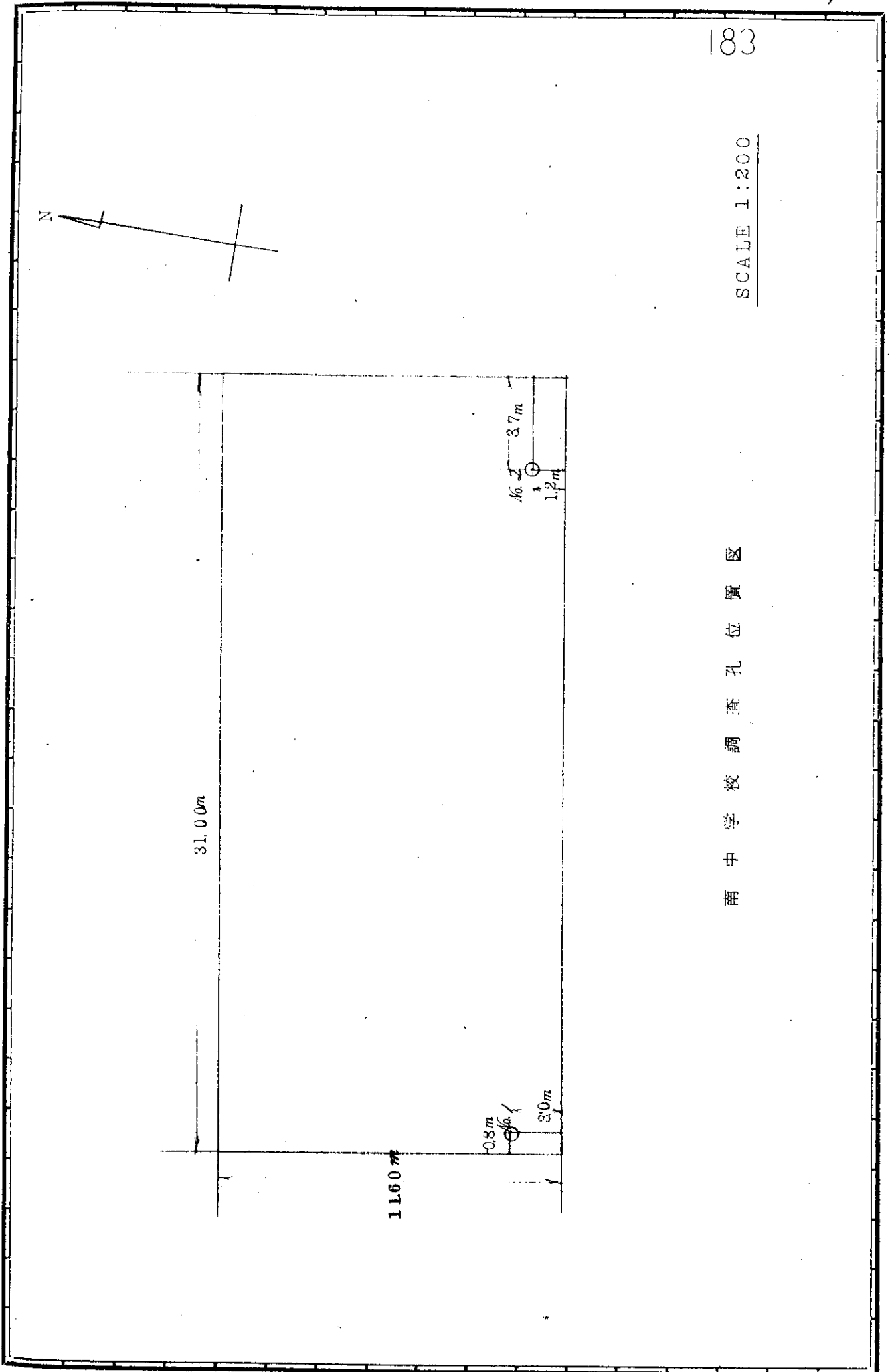
資料5 地質断面図

地質調査図<南中学校>



SCALE 1:200

南中学校調査孔位置図



南 中 学 校 土 質 日 次 図

調査地点 四日市 ^{白永} 新田一丁目地内

数字 20M X 2 層

孔内水位 0.40m	試錐孔深 18m	着手 昭和38年 1月30日	試錐機種類 新研KS100
孔 No. 1	試錐孔径 65%	終了 昭和38年 2月5日	試錐担当者 齊藤 義彦

標尺 m	深 度 m	層 厚 m	資料 番号	図 表	色 調	名 称	相 对 密 度	相 对 稠 度	標 準 貫 入 試 験					記 事
									深 度 m	N 値 cm/10			cm/回	
5	1.30	1.30	1	X	暗灰色	炭 土	非常		1.00	10 $\frac{1}{2}$	10 $\frac{1}{3}$	10 $\frac{1}{3}$		
							に	1.30						
							ゆ	2.00	10 $\frac{1}{4}$	10 $\frac{1}{2}$	10 $\frac{1}{2}$			
							る	2.30						
								3.00	10 $\frac{1}{2}$	10 $\frac{1}{2}$	10 $\frac{1}{4}$			
							い	3.30						
								4.00	10 $\frac{1}{4}$	10 $\frac{1}{5}$	10 $\frac{1}{6}$			
							中	4.30						
								5.00	10 $\frac{1}{4}$	10 $\frac{1}{4}$	10 $\frac{1}{8}$			
							位	5.30						
10							中	6.00	10 $\frac{1}{4}$	10 $\frac{1}{2}$	10 $\frac{1}{6}$			
								6.30						
								7.00	10 $\frac{1}{2}$	10 $\frac{1}{2}$	10 $\frac{1}{2}$			
							中	7.30						
								8.00	10 $\frac{1}{8}$	10 $\frac{1}{2}$	11 $\frac{1}{11}$			
							位	8.30						
								9.00	10 $\frac{1}{6}$	10 $\frac{1}{8}$	10 $\frac{1}{10}$			
								9.30						
								10.00	12 $\frac{1}{10}$					
								特	10.12					
15							別	11.00	11 $\frac{1}{10}$					
							に	11.11						
								12.00	14 $\frac{1}{10}$					
							硬	12.14						
								13.00	12 $\frac{1}{10}$					
							い	13.12						
								14.00	20 $\frac{1}{10}$					
							非	14.20						
								15.00	21 $\frac{1}{10}$					
							常	15.21						
20							に	16.00	24 $\frac{1}{10}$					
								16.24						
							密	17.00	25 $\frac{1}{10}$					
							な	17.25						
								18.00	22 $\frac{1}{10}$					
								18.22						

南 中 学 校 土 質 柱 状 図

調査地点 四日市・泊町地内

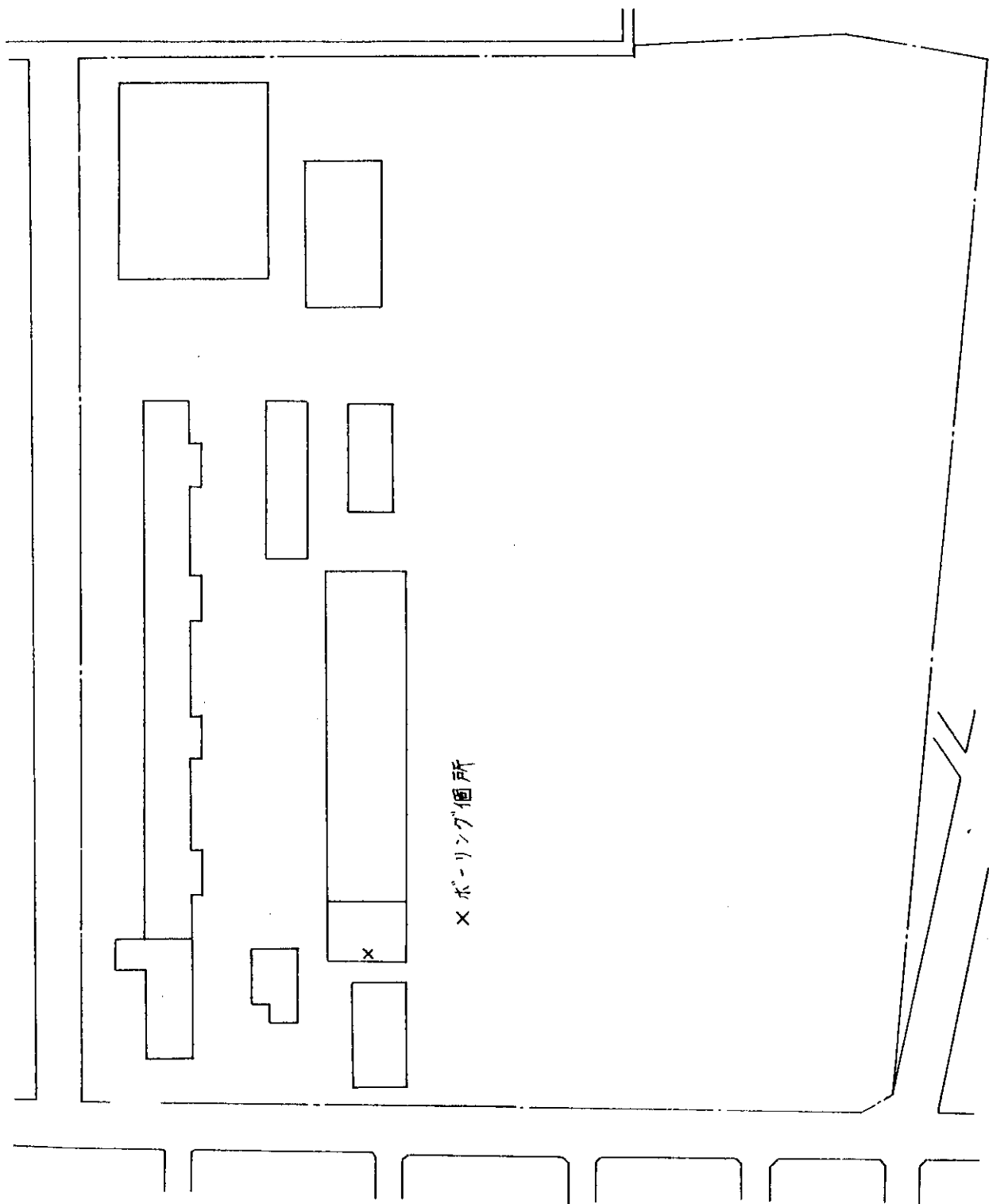
孔内水位	0.40m	試験孔深	20m	着手	昭和38年2月5日	試験機種類	鉱研K-S100
孔 No.	9	試験孔径	80%	終了	昭和38年2月9日	試験担当者	斎藤 義彦

標尺 m	深 度 m	層 厚 m	資料 番号	図 表	色 調	名 称	相 对 密 度	相 对 稠 度	標 準 貫 入 試 験					記 事				
									深 度 m	N 値 cm/回			10 20 30 40 50 cm/回					
5	1.40	1.40	1	X	青灰色	腐土	軟	1.00	10/2	10/1	10/2							
								1.80	17/1	13/1								
	2.80	1.60	2		暗灰色	細砂	軟	2.80	15/1	15/1								
								3.00										
								3.30	15/1	15/1								
								4.00										
		3.50	2.60	3		黒灰色	砂質粘土	軟	4.80	15/2	5/2	10/2						腐蝕物混入
							5.00											
		4.40	3.00	4	0	灰色	玉石混り粗砂	中	5.30	10/7	10/9	10/11						玉石混り 70~100%
							6.00											
	7.80	0.90	5		黒灰色	細砂	位	7.80	10/6	10/6	10/8							
						8.00												
	8.80	1.50	6	0	茶色	礫混り粗砂	硬	8.90	10/8	10/9	10/11						礫混り 10~15%	
						9.00												
	9.80	1.00	7		茶色	砂質粘土	硬	9.90	10/5	10/6	10/8							
						10.00												
	10.90	1.10	8		青色	粘土	硬	10.90	10/5	10/6	10/7							
						11.00												
	12.80	1.40	9		茶色	粗砂	密	12.80	10/6	10/7	10/10							
						13.00												
							密	13.80	10/7	10/9	10/11							
						14.00												
							密	14.22	10/15	10/25	6/10							
						15.00												
	15.70	2.40	10	P	茶色	礫混り粗砂	密	15.22	10/18	10/26	3/5						礫混り 10~20%	
						16.00												
							密	16.90	10/11	10/18	10/17							
						17.00												
							密	17.80	10/12	10/14	10/20							
						18.00												
							密	17.80	10/10	10/18	10/15							
						18.00												
							密	18.80	10/11	10/14	10/18							
						19.00												
20	20.00	4.80	11		茶色	粗砂	密	19.80	10/13	10/14	10/19							
						20.00												
							密	20.80										
						20.90												

東邦製鋼工業株式会社

調査地点位置図

S = 1/1,000



南中学校増築工事に伴う地質調査 地質柱状図 (NO.)

調査地 三重県四日市市々前田町地内

調査年月日 昭和51年1月28日~51年1月29日

標高 M 孔内水位 GL-0.75 M 技術者 原野

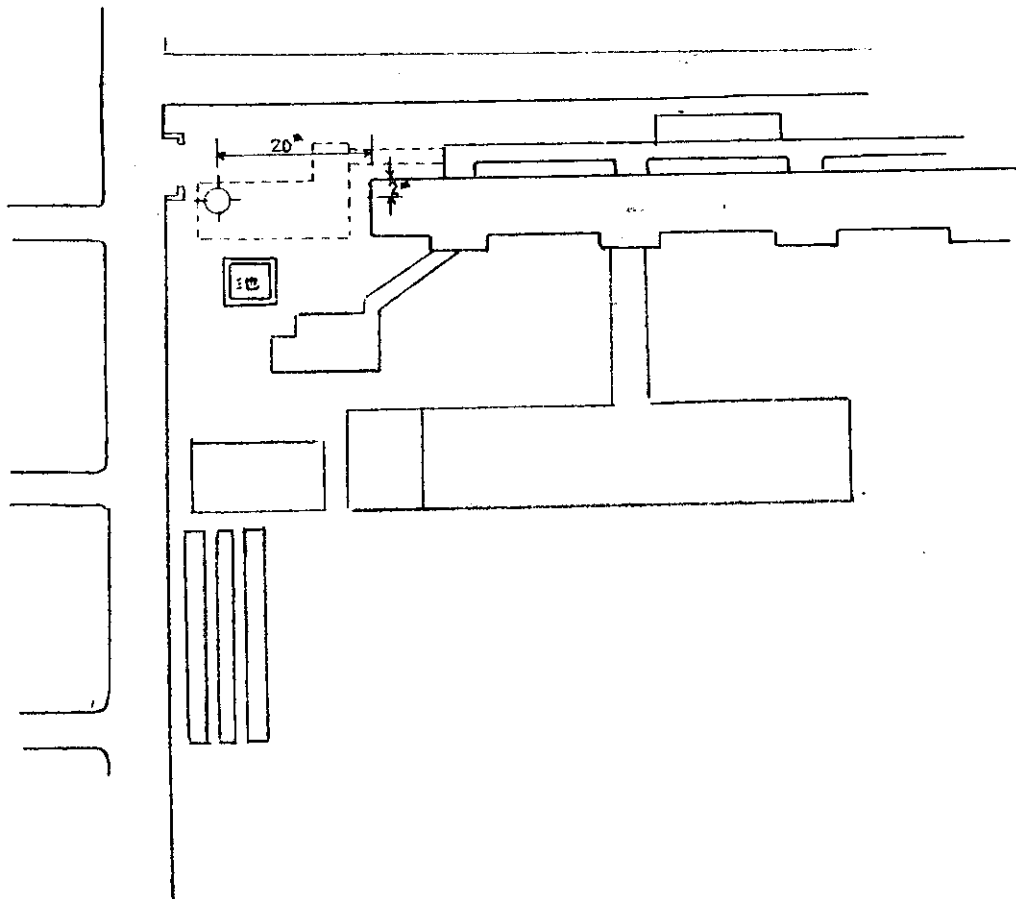
標尺 m	深 度 m	層 厚 m	柱 状 図	色 調	地 質 名	観 察	相 对 密 度	相 对 稠 度	現 在 試 験 深 度 m	標 準 貫 入 試 験						試 料		標尺 m				
										深 度 m	N 値 回/cm	10cm毎の 打撃回数			N 値					採 方	取 法	
										10	20	30	0	10	20	30	40	50	不 攪 乱	攪 乱	採 取 深 度 m	
1	0.70	0.70		暗 灰	埋 土	シルト混り 粗中砂	含水多し	極地		1.15 1.53	2/38											1
2	1.70	1.00		暗 灰	砂混りシルト	砂は粗中砂		中位		2.15 2.45	7/31	1	2	4								2
3	3.20	1.50								3.15 3.45	19/30	4	7	8								3
4				暗黄灰	中 砂	4.00m付近よりハサバサした中砂 5.00m付近より含水少量 5.40~5.45mは砂層さ はさあ 粒径は10%値の円礫 7.15~7.30mは砂混りシルト		中位		4.15 4.45	23/30	6	8	9								4
5										5.15 5.45	25/30	6	9	10								5
6										6.15 6.45	26/30	7	9	10								6
7	7.30	4.10		暗黄灰	粗中砂	所々少量のシルト 混る マアツに少量の 粒径10%値の点在 含水多し		中位		7.15 7.45	10/30	1	2	7								7
8										8.15 8.45	24/30	7	8	9								8
9	9.65	2.35		暗黄灰	砂混りシルト	砂は細砂 少量の雲母 腐植物 10.40m暗黄灰		堅		9.15 9.45	28/30	8	9	11								9
10	10.90	1.25		暗黄灰	粗中砂	含水多し 20%の円礫				10.15 10.45	9/30	3	2	4								10
11	11.25	0.35		暗黄灰	砂混りシルト	砂は細砂				11.15 11.45	12/30	6	3	3								11
12	11.85	0.60		暗黄灰	砂混り粗砂	粒径大で40%位の 円礫がある		中位		12.15 12.45	27/30	7	8	12								12
13	13.50	1.65		暗黄緑灰	砂混りシルト	砂は細砂 14.30mより暗灰となる		極堅		13.15 13.45	34/30	10	12	12								13
14	14.70	1.20		暗黄灰						14.15 14.45	16/30	5	5	6								14
15				暗青灰	凝固シルト	16.70m~18.45m暗灰 で腐植物多く混入				15.15 15.45	17/30	5	6	6								15
16										16.15 16.45	19/30	5	6	8								16
17										17.15 17.45	21/30	5	7	9								17
18										18.15 18.45	25/30	7	8	10								18
19										19.15 19.45	28/30	7	8	13								19
20	20.45	5.75		暗青緑灰		少量の腐植物混入		固結		20.15 20.45	43/30	8	15	20								20

(604.2)

東建地質調査株式会社

調査地点位置図

南中学校



ボーリング記録表

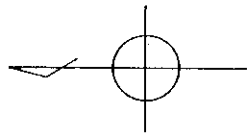
57

ボーリング番号	51	孔内水位	61-120 m	
調査名	南中学校地質調査			
調査場所		試錐口径	86-66 mm	
調査期間	昭和50年5月3日～昭和50年5月7日		調査深度	2000 m
標高	基準	責任者	伊藤 幸一	
実施者	東邦地水株式会社		担当者	伊藤 幸一

標尺 (m)	標高 (m)	深 度 (m)	層 厚 (m)	現場観察記録				標準貫入試験					試料採取		
				土質記号	土質名	色調	記 事	深 度 (m)	10 cm 毎の 打撃回数			N 値	試料番号	採取方法	
									10 cm	20 cm	30 cm				
1	07.0	07.0	0.70	シルト質粘土	暗緑灰		0.20m迄層間土砂 敷石有り	1.00	1	1	2	3			
2	12.0	05.0	0.50	シルト質粘土	茶褐灰		上部は暗緑灰 下部は茶褐灰 腐植質有り	1.30	1	1	2	3			
3	28.0	16.0	1.60	シルト質粘土	青灰		上部は暗緑灰 下部は茶褐灰 腐植質有り	2.00	1	1	1	9			
4				粗砂	淡黄灰		上部は粗中砂 下部は砂礫 粒径(φ30-50%)	2.30	1	1	1	9			
5								3.00	1	1	1	9			
6								3.30	1	1	1	9			
7	70.0	12.0						4.00	4	5	8	17			
8								4.30	7	8	9	24			
9								5.00	7	8	9	24			
10								5.30	7	8	9	24			
11								6.00	7	7	8	22			
12								6.30	7	7	8	22			
13	84.0	14.0		シルト混り砂	暗 灰		中砂中土でシルトを 含む 腐植質有り	6.80	3	3	3	9			
14								7.00	3	3	3	9			
15								7.30	3	4	4	11			
16								8.00	3	4	4	11			
17								8.30	3	4	5	12			
18								9.00	3	4	5	12			
19								9.30	3	4	5	12			
20								10.00	4	4	5	13			
21								10.30	4	4	5	13			
22								11.00	5	6	7	18			
23								11.30	5	6	7	18			
24								12.00	5	6	7	18			
25								12.30	5	4	6	15			
26								12.80	5	4	6	15			
27								13.00	4	5	6	15			
28								13.30	4	5	6	15			
29								14.00	4	5	6	15			
30								14.30	4	5	6	15			
31								15.00	4	5	5	14			
32								15.30	4	5	5	14			
33								16.00	5	8	8	21			
34								16.30	5	8	8	21			
35								17.00	6	10	12	28			
36								17.30	6	10	12	28			
37								18.00	10	13	13	36			
38								18.30	10	13	13	36			
39								19.00	11	13	12	36			
40	20.40	12.00		固結シルト	暗青灰			19.30	11	13	12	36			
41								20.00	12	13	16	41			
42								20.80	12	13	16	41			

備考

- 試料採取記号
- デニソンサンブラー
 - シンウォールサンブラー
 - ⊕ フォイルサンブラー
 - 貫入試験用サンブラー
 - △



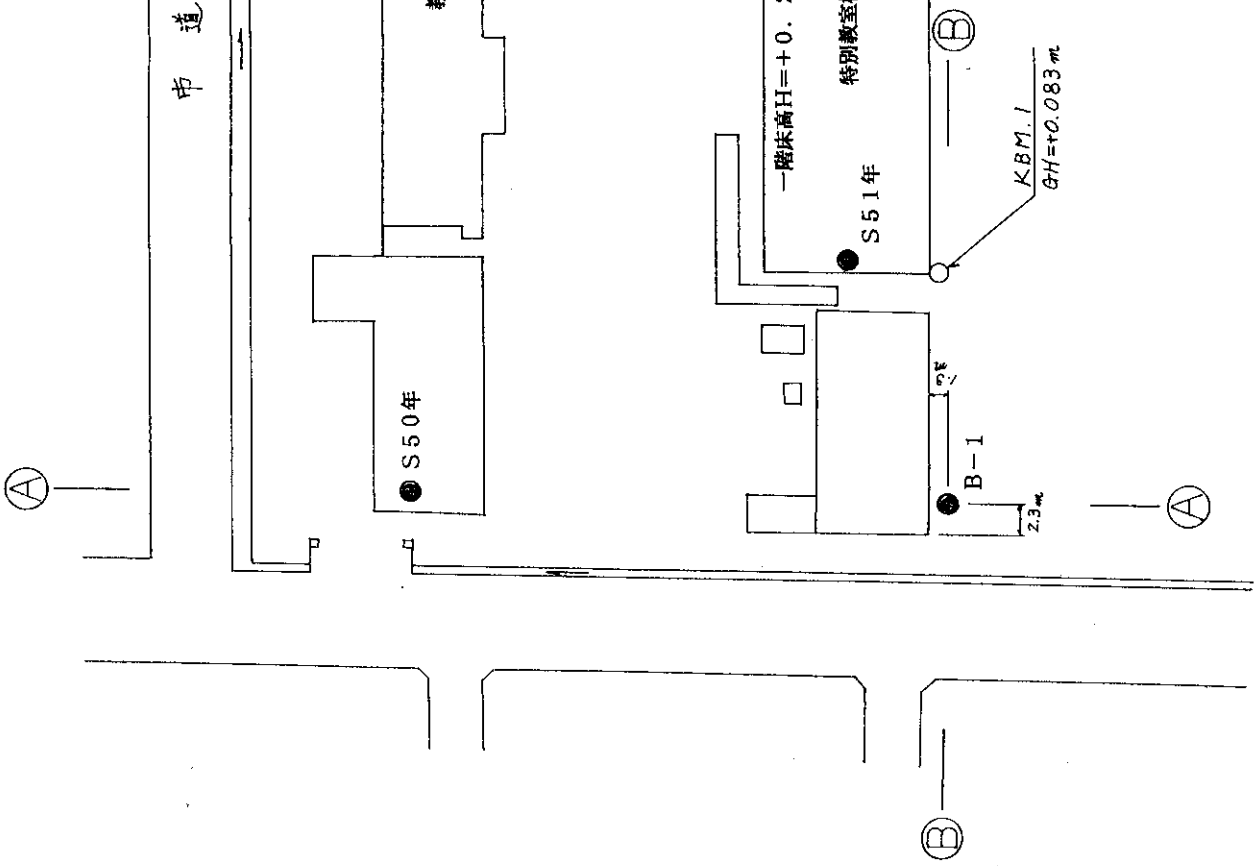
443

ボーリング位置平面図

ボーリング位置

縮尺 1 : 400

(13) 特製設計用紙 A3 No.01250 OSTRICH CO.LT

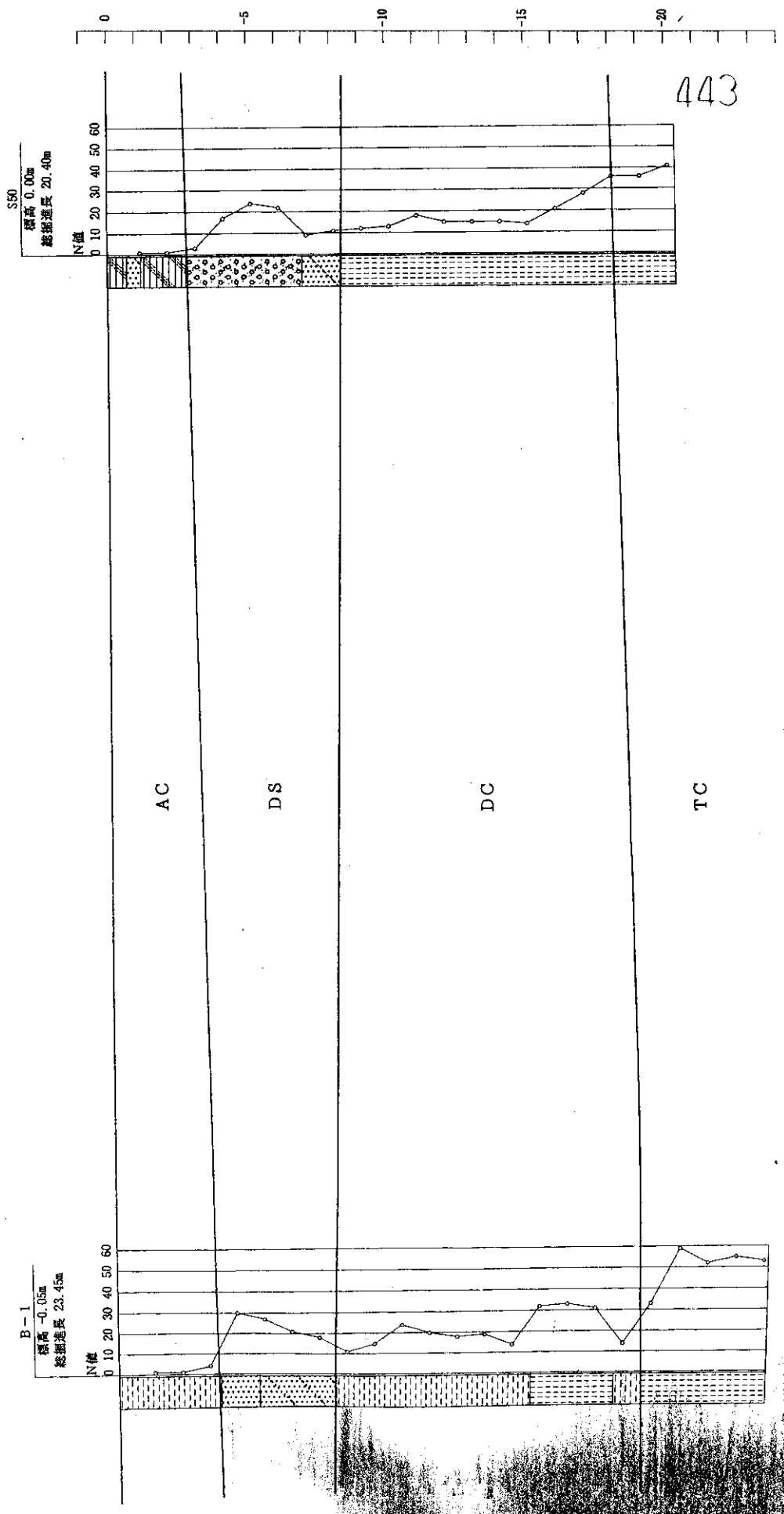


既存の土質調査資料

推定土層断面図 ①—①

縮小率 = 1 / 150
縮小率 = 1 / 150

地質時代	記号	土質
沖積世	AC	軟らかいシルト
洪積世	DS	やや密な砂
第三紀	DC	非常に硬いシルト
	TC	固結シルト

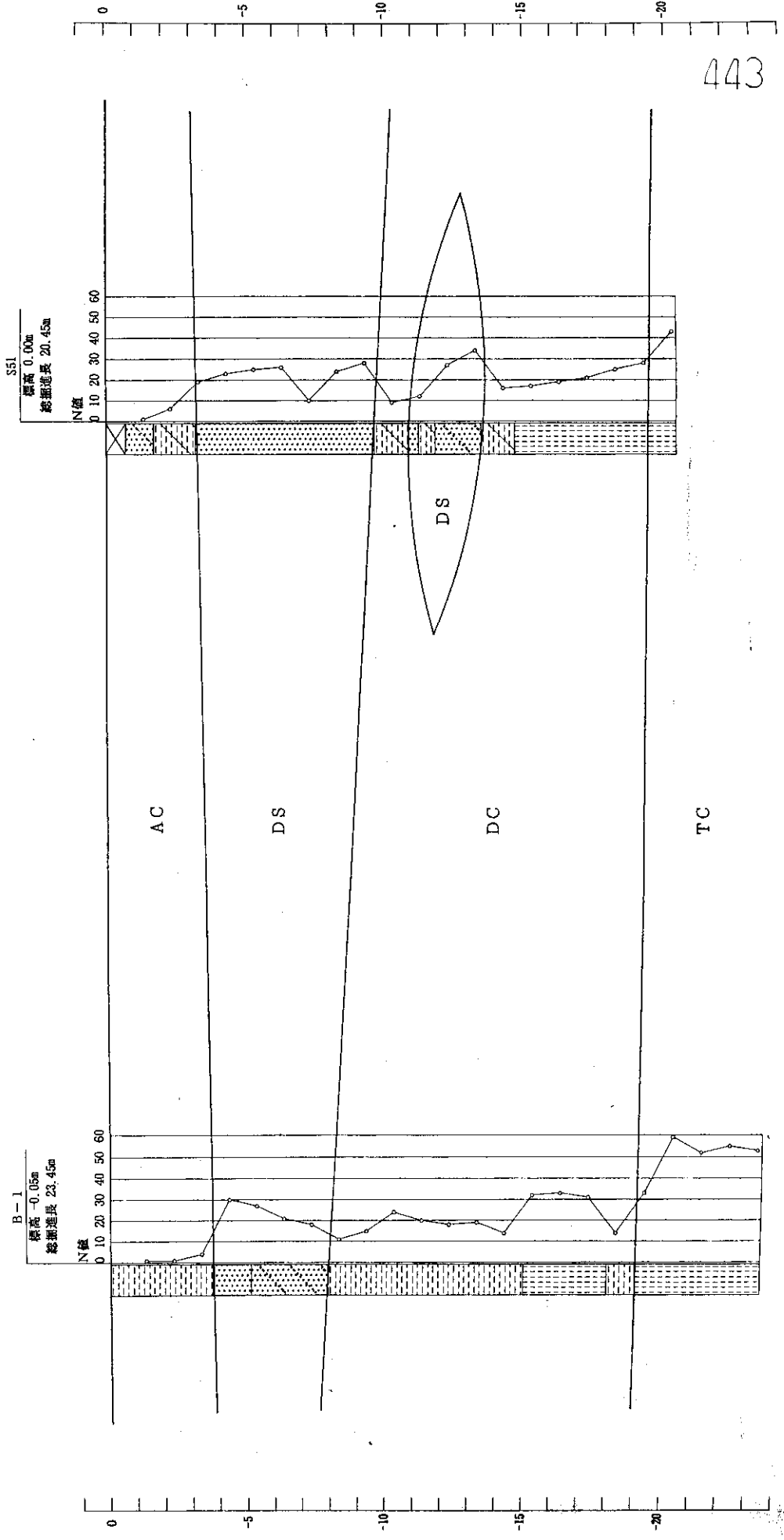


443

推定土層断面図 ② - ③

縮小率 = 1 / 150
縮小率 = 1 / 100

地質時代	記号	土質
沖積世	AC	軟らかいシルト
洪積世	DS	やや密な砂
	DC	非常に硬いシルト
第三紀	TC	固結シルト



調査名 南中学校増改築工事地質調査業務委託

ボーリングNo. 0000000000

事業・工事名

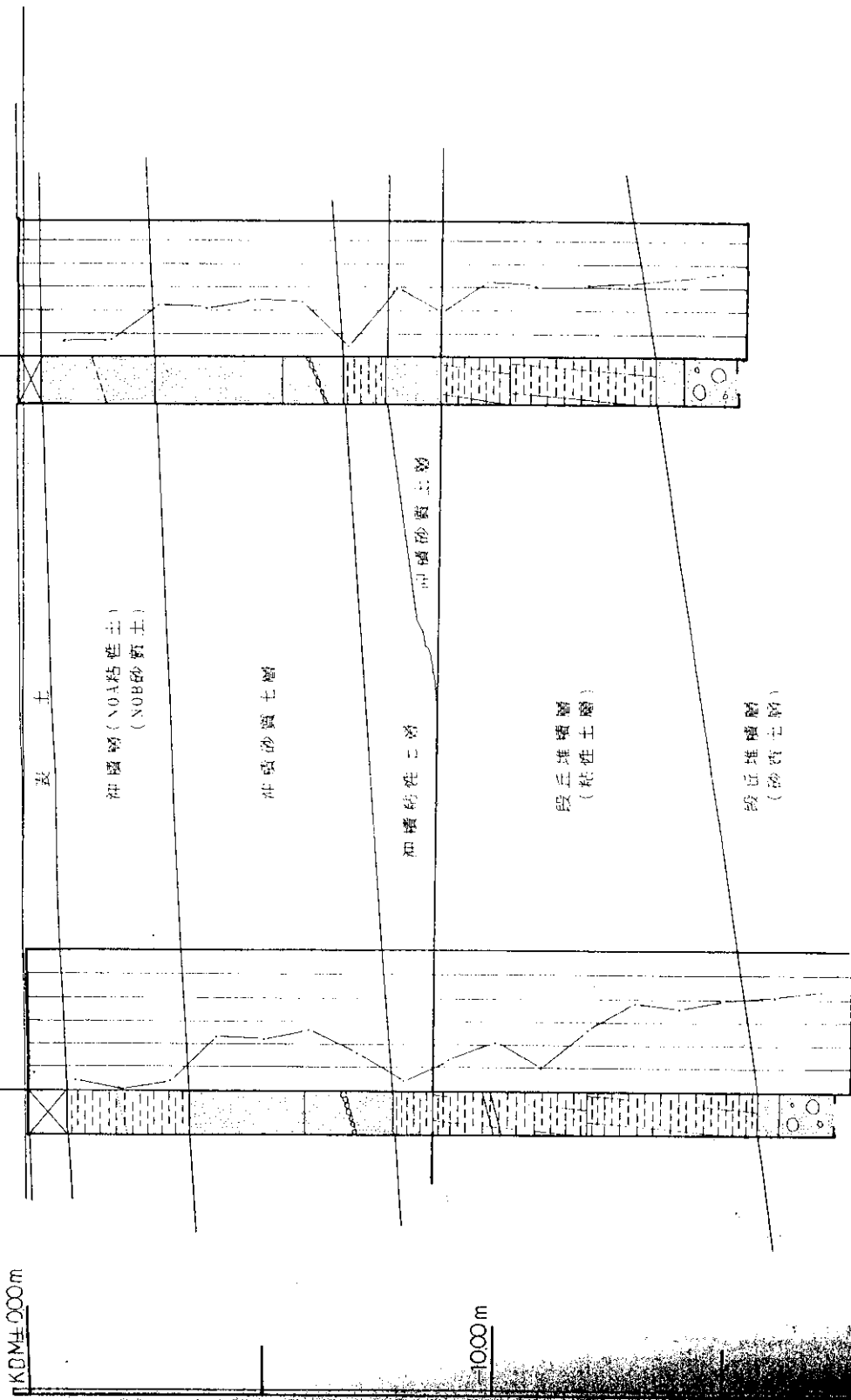
シートNo.

ボーリング名	B-1		調査位置	三重県四日市市前田町			北緯	34°55'57.0"			
発注機関	四日市市役所				調査期間	平成7年11月6日 - 平成7年11月10日			東経	136°35'51.0"	
調査業者名	計測地質株式会社 電話(0592-27-9005)		主任技師	北川 満		現代理人	横山 繁樹		コ鑑定者	横山 繁樹	
ボーリング責任者					試験機	カノーKR50C		ハンマー落下用具	コーンブーリー		
孔口標高	-0.05m	角	180°上 90°方 0°下		地盤勾配	鉛直90°		使用機種	エンジン		
総掘進長	23.45m	度	270°西 180°南 90°東		エンジン	ヤンマーNS-65		ポンプ	カノV6-A		

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色相対密度	相対稠度	記	標準貫入試験				原位置試験	試験採取	室内試験	掘進月日	
								深	10cmごとの	打撃回数	N 値					
1				シルト	褐		所々薄い砂層挟む 腐植した木片を挟む 非常に軟らかいシルト	1.15	1	1	30					
2				ト	暗		1.7m付近硬層挟む 含水比36.7%	1.45								
3								2.15	1	1	30					
4	-3.75	3.70	3.70					2.45	1	1	2	4				
5				砂	白		中位の相対密度 中～粗砂が主体で 細粒土分5%	3.15	1	1	2	4				
6				砂	白			3.45	8	10	12	30				
7				礫混り砂	青		礫は珪角礫φ3~5mm 最大粒径φ4.0mm 細粒土分5% 孔壁の崩壊が少なかった 雲母片混入する 7.9m付近硬層挟む	4.15	8	10	12	30				
8								4.45	9	9	9	27				
9								5.15	9	9	9	27				
10	-5.15	1.40	5.10					5.45	6	7	8	21				
11								6.15	6	7	8	21				
12								6.45	5	6	7	18				
13								7.15	5	6	7	18				
14								7.45	3	3	5	11				
15								8.15	3	3	5	11				
16								8.45	3	5	7	15				
17								9.15	3	5	7	15				
18								9.45	7	8	9	24				
19								10.15	7	8	9	24				
20								10.45	6	7	7	20				
21								11.15	6	7	7	20				
22								11.45	5	6	7	18				
23								12.15	5	6	7	18				
24								12.45	5	6	8	19				
25								13.15	3	5	6	14				
26								14.15	3	5	6	14				
27								14.45	9	11	12	32				
28	-15.05	7.10	15.00					15.15	9	11	12	32				
29								15.45	10	11	12	33				
30								16.15	10	11	12	33				
31								16.45	10	10	11	31				
32								17.15	10	10	11	31				
33								17.45	4	4	6	14				
34								18.15	4	4	6	14				
35								18.45	9	11	13	33				
36								19.15	9	11	13	33				
37								19.45	14	21	24	59				
38								20.15	14	21	24	59				
39								20.45	15	17	20	52				
40								21.15	15	17	20	52				
41								21.45	14	18	23	55				
42								22.15	14	18	23	55				
43								22.45	13	17	23	53				
44								23.15	13	17	23	53				
45								23.45								

NO. B+KBM 0.086 m
DEP = 1545 m

NO. A KBM-0037
DEP = 17.45 m



KBM±0.000 m

1000 m

地質推定断面図

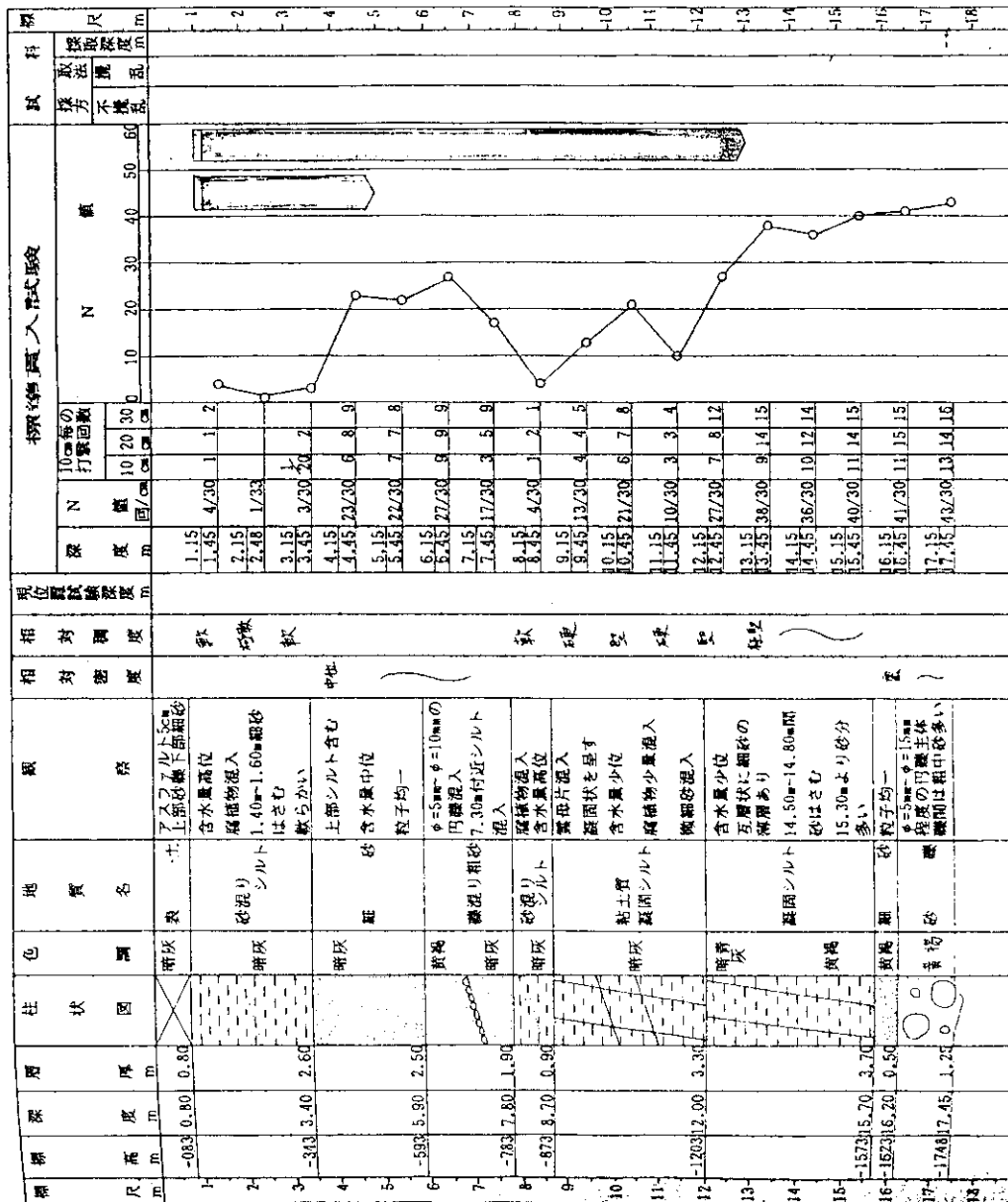
工事名称	三重地質調査株式会社
図面名称	縮尺 縦 1/1000 横 1/1000

調査年月日 昭和62年 5月25日~昭和62年 5月26日

調査地 四日市市前田町地内

調査者 高 K.B.M-0.037 M 孔内水位 GL-1.30 M 枝 梢 梢 乳 性 管 男

杭先端地盤の平均N値の採用方法
杭先端より上方4φ, 下方1φなる範囲のN値



$$\Phi = 400 \text{mm}$$

$$\frac{3 \times 23 + 22 + 27}{4} = 18$$

$$\Phi = 300 \text{mm}, \Phi = 350 \text{mm}$$

$$\frac{23 \times 22 + 27}{3} = 24$$

$$\Phi = 400 \text{mm}$$

$$\frac{10 \times 27 + 38 + 36}{4} = 27$$

255

工事名称
図面名称

縮尺 縦 1/ 横 1/ 三重地質調査株式会社

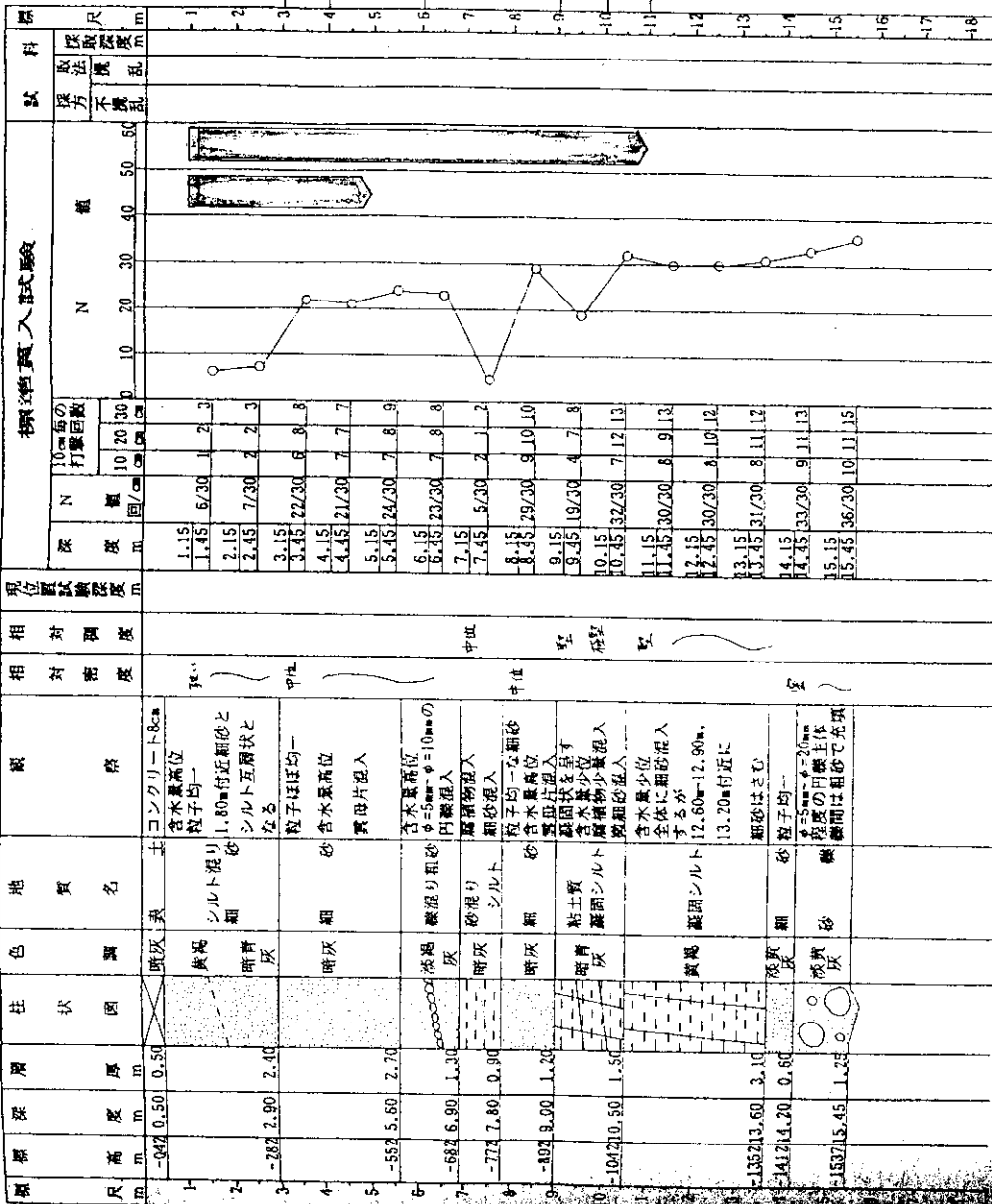
地盤柱状図 (NO. B)

内部中学校建築工事他I校地質調査業務委託 (南中学校)

調査地 四日市市南四町地内

調査年月日 昭和62年 5月23日~昭和62年 5月25日

標高 K.D.M.+0.086 M 孔内水位 GL-1.20 M 技術者 伴 毅 男



$\Phi = 400\text{mm}$
 $\frac{22 \times 21 + 24 + 23}{4} = 22$
 $\Phi = 300\text{mm}$
 $\frac{21 \times 24 + 23}{3} = 22$
 $\Phi = 400\text{mm}$
 $\frac{19 \times 32 + 30 + 30}{4} = 27$
 $\Phi = 350\text{mm}$
 $\frac{32 \times 30 + 30}{3} = 30$

工事名称
図面名称

縮尺 縦 1/ 横 1/ 三重地質調査株式会社